

実習内容
ならびに
スケジュール

シミュレーション実習

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木				
金	胸腹部の身体診察の手技と シミュレーションの実施	臨床教育統括セン ター教職員	9 : 30	臨床教育統括センター (1号館4階) 共用カンファレンス ルーム

◎ 診療科名： シミュレーション実習

◎ 責任者氏名： 篠原 尚 臨床教育統括センター長

◎ 指導教員氏名：

卒後臨床研修センター

平野 公通 教授

臨床教育統括センター

柏 薫里 講師、山口 円 兼担教員、湯浅 真裕美 兼担教員

中尾 康樹 兼担教員、長瀬 雅弘 兼担教員

◎ 実習概要

胸腹部における基本的な身体診察の手技を学び、臨床推論に基づいたシナリオを考えシミュレーションの基本的な技術を学ぶことを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 胸腹部における基本的な身体診察ができる。
- ・ 臨床推論に基づいたシナリオ設定を考えることができる。
- ・ シナリオに基づいたシミュレーションが実施できる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・ 胸腹部における基本的な身体診察を学習しておくこと（2 時間）。

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、診察手技について評価。
評価基準をループリックで明示。

	1	2	3	4	5
知識★	臨床推論と胸腹部における身体診察の手技が理解できない。	臨床推論と胸腹部における身体診察の手技の一部を理解できる。	臨床推論に基づいた胸腹部における基本的な身体診察の手技を理解できる。	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技が理解できる。	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技が説明できる。
態度（積極性）★	質問や発言がなく、実習に取り組むことができていない。	質問や発言はあるが、実習に取り組むことができていない。	質問や発言が少なく、積極的ではないが実習に取り組むことができる。	質問や発言ができ、実習に取り組むことができる。	活発に質問や発言ができ、積極的に実習に取り組むことができる。
コミュニケーション★	教員や学生同士のコミュニケーションが非常に困難で、基本的な情報を伝えることもできていない。	教員や学生同士のコミュニケーションがぎこちなく、情報を伝えることができない。	教員や学生同士のコミュニケーションで、情報を伝えることができる。	教員や学生同士のコミュニケーションがスムーズで、基本的な情報を正確に伝える。	教員や学生同士の関係を効果的に構築し、情報を明確かつ簡潔に伝える。
診察手技（シミュレータを用いた技能評価）	胸腹部における身体診察の手技ができない。	胸腹部における身体診察の一部の手技ができる。	胸腹部における基本的な身体診察の手技ができる。	胸腹部における身体診察の手技ができる。	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技ができる。
	シナリオを用いたシミュレーションができない。	シナリオを用いた一部のシミュレーションができる。	シナリオを用いた基本的なシミュレーションができる。	シナリオを用いたシミュレーションができる。	シナリオを用いて臨床推論に基づいたシミュレーションができる。

◎ 中間評価とフィードバック

金曜午前・午後の終了時に、その場でフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 当日は9時30分に1号館4階臨床教育統括センターの講義室または共用カンファレンスルームに集合すること。
- 集合時間を厳守すること。
- 実習内容は当日説明し、資料も当日に配布する。
- シミュレータを使用する実習であるが、実際の患者であることをイメージして丁寧に対応すること。
- シミュレーションは実際の患者診療を想定したものであるから、身だしなみにも注意すること。（態度不良は全評価の評価基準を0点とする）
- 本実習は患者の協力を必要としないため、必要があれば他の診療科の実習の予備日に実施する場合がある。その際には本実習の予備日は、別途指示する。